

発行所 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部 滋賀県大津市本宮2-9-9
発行責任者 大本和由 滋臨技ホームページURL <https://samt.securesite.jp>



◇目次◇

第46回滋賀県医学検査学会開催を終えて / いぶき賞を受賞して	2
第46回 滋賀県医学検査学会を終えて	3
タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 第4回講習会 (令和6年3月10日) のご報告と今後の講習予定	4
令和5年秋の叙勲に浴して / 公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰を受賞して	5
公衆衛生事業功労者知事表彰を受賞して / 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰の御礼	5
令和6年度 (2024年) 滋賀県臨床検査技師会事業計画	8
新型インフルエンザ等感染症を見据えたPCR研修会報告	9
令和6年度滋賀県精度管理参加申込のご案内 / 会員動向 (2024年1月から) / 2023年度 賛助会員	10
令和6年1月定例理事会報告 / 令和6年2月定例理事会報告	11

第46回滋賀県医学検査学会開催を終えて



学会長 田口 一也

令和6年(2024年)2月25日、クサツエストピアホテルで開催されました第46回滋賀県医学検査学会で名誉ある学会長を務めさせていただきました。準備にあたっては経験豊富な役員や第3地区支部委員の皆さん、そして実行委員長の滋賀医大病院池本敏行様の力をお借りして進めてまいりました。学会当日は3連休の3日目、それも生憎の雨天とういう決して条件の良い状況にもかかわらずご参加いただいた134名もの皆様、本当にありがとうございました。

2019年末に中国で報告された新型コロナウイルス感染症は翌年1月には日本でも確認され、2月末には多くのコンサートや競技大会、集会が中止に追い込まれました。当学術集会も例外ではなく第42回が中止となり第42回から45回まではWebを主体とした開催となりました。そして今回5年ぶりに会員の皆様にお集まりいただける通常開催を実施出来た事を大変喜ばしく思います。

一般演題として12題の貴重な発表があり、いぶき賞では大津赤十字病院の遠藤昭大先生に受賞講演を頂戴いたしました。いずれも興味深い内容で演者と座長の皆様には感謝いたします。

特別講演は私の提案を役員の方々が快くお聞き入れいただき、「発掘された大津の歴史」という臨床検査とは程遠い題目の講演を、大津市歴史博物館学芸員の福庭万里子先生にお願いする事が出来ました。

「少し面白そう」と会場へ足を運んでもらうきっかけとなれば幸いという私の思いからです。発見された遺物や遺構といった遺跡からコツコツと途方もない時間をかけて事実を突き止め、新たな発見と過去の常識の修正が行われていく。その様は意外にも医学研究に類似する点があるように思えました。

半日という短い時間でしたが久しぶりに人的交流を深める機会もあり、充実した学術集会学会となったのではないのでしょうか。最後になりましたが、当学術集会の開催にあたり多大なご協力を頂いた役員および関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

いぶき賞を受賞して



大津赤十字病院
検査部 遠藤 昭大

この度、2月25日にクサツエストピアホテルにて開催されました第46回滋賀県医学検査学会にて第26回いぶき賞を受賞いたしました。このような素晴らしい賞をいただけたのは、日頃からご指導いただいている皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

臨床検査には様々な分野が存在し、日常業務を遂行する上で患者情報の収集や共有、臨床医とのディスカッションなどが不可欠であります。今回、受賞しました論文「*Aerococcus urinae*による尿路感染症に化膿性膝関節炎と血液培養陰性心内膜炎を合併した一例」は微生物学の内容となっておりますが、微生物検査においても患者情報の収集や医師との意見交換などがとても重要であることは言うまでもありません。さらに、微生物検査では検査室から臨床へ様々な情報を提供することもしばしばあります。検出された菌種について広く知られているものもあれば、検出される頻度が低くあまり知られていないものも多くあります。今回の論文で述べている菌種についても、臨床的に検出・同定される機会は比較的少ないかもしれませんが、細菌学的特徴はもちろん、臨床的にどのような感染症を引き起こす可能性があるのかなどについても理解しておく必要があります。このような情報を提示し、臨床医とディスカッションすることで、思わぬ重要な感染症を見つけるきっかけになる場合もあります。日常の検査を通じて、どのようにすれば患者さんの治療に少しでも役に立てるのかについて考えることが非常に重要なことであると改めて感じました。今後も積極的に知識の習得および技術の向上に取り組んでいこうと思います。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第46回 滋賀県医学検査学会を終えて

- ◆開催日時: 令和6年2月25日(日)
- ◆会場: クサツエストピアホテル
- ◆担当: 第3地区



【開会式】

学会長 田口 一也(市立大津市民病院)

【一般演題】

■臨床免疫化学部門

1. ハプトグロビン製剤投与後にコリンエステラーゼが偽高値を示した1症例
塚元 菜月(滋賀県立総合病院) 座長: 松田 哲明 (大津赤十字病院)
2. 免疫グロブリンの関与が疑われたCRP異常高値の一症例
加藤 遼(滋賀医科大学医学部附属病院)

■臨床微生物部門①

3. 温熱療法の有用性を裏付けた皮膚アルテルナリア症の1例
今坂 久美(彦根市立病院) 座長: 秋井 啓輔(滋賀県立総合病院)
4. 血液培養陽性検体におけるTAT短縮法と従来法の比較
小西 真実子(長浜赤十字病院)

■臨床微生物部門②

5. バーキットリンパ腫の化学療法中に血液培養より*Rhodotorula mucilaginosa*を検出した1症例
前田 直美(社会医療法人誠光会 淡海医療センター) 座長: 近澤 秀己(近江八幡市立総合医療センター)
6. 当院における入院前新型コロナウイルスPCR無症状陽性者について
木下 愛(滋賀医科大学医学部附属病院)

■臨床生理部門

7. 当院における意識障害の患者に対する脳波検査の現状 ～臨床検査技師の目線から～
今坂 久美(彦根市立病院) 座長: 中島 辰也(済生会滋賀県病院)
8. 心機能低下とfQRSの関連
轟 有紗(長浜バイオ大学)

■臨床病理細胞部門

9. 凍結セルブロックによる脂肪染色が有用であった外因性リポイド肺炎の1例
市浦 康子(独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院) 座長: 土田 弘次(長浜赤十字病院)
10. 当院におけるASC判定の検討
古賀 一也(市立長浜病院)

■その他

11. 法医解剖における植込み型心臓電気デバイス(CIEDs)の役割
東條 美紗(国立大学法人 滋賀医科大学) 座長: 林 裕司(滋賀医科大学医学部附属病院)
12. ダニの経口摂取によるアナフィラキシーの一例
藤村 晴香(地方独立行政法人 市立大津市民病院)

【第26回 いぶき賞 受賞講演】

「*Aerococcus urinae* による尿路感染症に化膿性膝関節炎と血液培養陰性心内膜炎を合併した一例」
大津赤十字病院 高橋 春菜(代理) 座長: 社会医療法人誠光会 淡海医療センター 西尾 久明

【表彰式】 いぶき賞表彰 遠藤 昭大、高橋 春菜(代理) 永年会員表彰 竹内 優子(代表)

【特別講演】 「発掘された大津の歴史」

大津市歴史博物館 福庭 万里子 先生

【閉会式】

実行委員長 池本 敏行 (滋賀医科大学医学部附属病院)

ータスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会ー

第4回講習会(令和6年3月10日)のご報告と今後の講習予定

3月10日(日)に第4回のタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会を開催し、59名の方(うち滋賀県会員40名)が講習会を無事に修了されました。

3月現在、252名(滋賀県会員の約35%)の方が修了しました。また、3月10日(日)現在の基礎講習の受講状況は以下のとおりとなっています。

■基礎講習受講済み 20名 ■基礎講習受講中 82名

今後の講習会の予定は下記の日程を計画しています。会場はいずれも医療研修施設「ニプロ iMEP(アイメップ)」となります。

■令和6年10月27日(日) ■令和7年3月23日(日) 予定

昨年の4月からは、他府県の会場も受講できるようになっています。参加を検討される際に、上記日程に合わない場合は他府県の会場もご確認いただければと思います。

3月2日(土)には施設代表者会議において、本講習会の受講状況について報告させていただき、受講について啓蒙させていただきました。会員の皆様には、各職場での業務拡大に前向きにご検討いただければと思います。

(文責 タスク・シフト担当 西尾久明)

公立甲賀病院 浅沼 佑香

今回受けさせていただいた実技講習ではWEB講習ではイメージできなかった部分もシミュレーターや一部実物を使用させていただき現実味が湧くような講習会でした。

また講師の先生方も医師や看護師の方々に実際に従事されている方々から教えていただくことができ大変有意義な時間でした。

最後になりましたが、今回開催するにあたりご指導いただきました先生方、実務委員の皆様大変ありがとうございました。

長浜赤十字病院 北村 京佳

1日の講習会を通じて、それぞれの処置・検査の注意点や患者対応まで幅広く学ぶことができました。動画で学ぶだけではなく、実際に手を動かすことで自分なりの注意点やコツも見出すことができてよかったです。やってみると難しいことも多く感じたので、臨床で携わる機会があれば今回学んだことを復習して挑みたいです。

神崎中央病院 中島 快

医師や看護師の負担を減らすため臨床検査技師のタスクシフトの過程を全て終えました。

講習を事前に行っていましたが、実際の手技をやることで現場での成功をイメージできより勉強になりました。

今後、働き方や働き手の関係により臨床検査技師が率先して医療を行う場面が多くなると考えます。今回の講習でその意識がより強くなり学んだ知識、技術ともに現場で活かせるよう精進します。

市立野洲病院 西村 みどり

今回のタスク・シフト/シェア研修は年齢的な部分もあり参加に対してかなり消極的な考えで、申し込むか迷っていましたが上司や同僚に促されて今回の実技講習に参加しました。

研修においては参加型で模型なども用意されており、楽しく受講することができました。

今はまだ臨床の場で実践するにはかなり経験を積む必要はありますが、臨床検査技師が病院にとって必要不可欠な存在になるように努力していきたいです。

最後に講師の先生、スタッフの皆様には準備等を含め大変な作業をありがとうございました。

令和5年秋の叙勲に浴して

松井 まり子



この度、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会のご推挙をいただき、令和5年秋の叙勲におきまして瑞宝双光章の栄に浴し、身に余る光栄に恐縮致しております。

令和5年11月6日ピアザ淡海において三日月知事より勲章・勲記の伝達を受け、11月10日皇居 豊明殿にて天皇陛下

から直接お祝いとお言葉をお言葉を賜り感動の極みでございました。これも偏に、大本会長をはじめ技師会の役員の方々、また職場の先輩、同僚の方々のご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。

技師会で2000年より17年間、現在の輸血・移植細胞部門の活動に携わったことは、私にとって愉しく有意義な時間でした。理事に就任してからは不慣れな業務でしたが、先輩理事の方が丁寧に指導して下さい無事任務を果たすことが出来ました。休眠していた滋賀県輸血療法委員会の活動を再開できたことは印象深い思い出です。技師会活動は、職場の皆様のご理解と技師会の皆様のご支援をいただいたからこそ成し遂げられたこととさせていただきます。

末筆ながら、当会の更なる飛躍と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、御礼の言葉と代えさせていただきます。

公益財団法人滋賀県健康づくり財団
理事長表彰を受賞して

株式会社メディック 谷 和也



このたび、1月18日に行われました第54回滋賀県公衆衛生学会において「令和5年度滋賀県公衆衛生事業功労者 公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰」を受賞させていただきました。このような栄誉ある賞をいただけたことは、身に余る光栄でございます。これもひとえに、勤務先の方々の技師会活動への

ご協力のおかげと御礼申し上げます。また、推薦していただきました大本会長をはじめ、理事の皆様、会員の皆様のご支援ご指導のおかげと深く感謝しております。

私は精度管理委員や公益活動部長として、精度の高い検査結果の提供や「全国検査と健康展」において、臨床検査を通じて健康づくりの意識の高揚や定期健診の重要性の啓発等の活動を行ってまいりました。

これからも、滋賀県臨床検査技師会の更なる発展と県民の皆様の健康増進に微力ですが尽力してまいりたいと思っております。今後も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公衆衛生事業功労者知事表彰を受賞して

地方独立行政法人公立甲賀病院 北村 友利子



この度、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会のご推薦により、第54回滋賀県公衆学会において「令和5年度公衆衛生事業功労者 知事表彰」を受賞させていただきました。この栄誉ある表彰をいただけましたことは、身に余る光栄でございます。

令和4年までの8年間理事を務めさせて頂き、また今年度は定年という節目を迎え、今までの活動へのご理解、ご協力頂いた勤務先である公立甲賀病院の皆様のおかげと御礼申し上げます。また、推薦いただきました大本会長をはじめ理事の皆様、会員の皆様のご支援ご指導のおかげと感謝申し上げます。

これからの当技師会の更なる発展をお祈り申し上げます。お礼の言葉と代えさせていただきます。

ありがとうございました。

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰の御礼

済生会守山市民病院 大本 和由



この度、「公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰」という栄誉ある賞を賜り、本当に身に余る光栄で大変にありがとうございます。

私は臨床検査技師として従事して約35年になります。主に生理検査、特に超音波検査を中心に現在も仕事をさせていただいております。その間、多くの

方々にご指導を賜り、臨床検査技師としての知識・技術だけでなく、社会人として、医療従事者として多くのことを教えていただきました。経験と年齢を重ねるうちに現在勤務している済生会守山市民病院では責任ある立場として仕事をしております。

また、滋賀県臨床検査技師会の活動については平成18年に理事に就任以来、途中2年のブランクはありましたが、理事、常務理事、副会長そして現在は会長として活動をする経験も積ませていただきました。そして技師会での活動を通して、県内だけでなく、全国の臨床検査技師の方々と交流することもできるようになり、多くのことを学んでいくことができました。このことは自分自身にとって本当に財産であると実感いたします。近年の目まぐるしい技術開発や時代の流れに応じて、私たち臨床検査技師の仕事にも変化を求められるようになってきております。その流れの中で、臨床検査技師が検査を通して「公衆衛生の向上」「国民の健康を守る」という変わらぬ使命を果たしていけるように、私自身がさらに精進をして、県内の臨床検査技師の方々とともに県民の皆様に適切な医療を提供していくようにしてまいります。

この度推薦していただいた滋賀県臨床検査技師会理事ならびに会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

これからも滋賀県臨床検査技師会および会員の皆さまの発展のために取り組んでまいりたいと思っております。

本当にありがとうございました。

4月27日(土)

14:00～16:00



臨床免疫化学検査部門

第1回臨床免疫化学検査部門研修会

内容：検体検査業務の効率化を目指して
～検体検査システムと検体搬送システムについて知る～

1. 検査システムによる精度保障への取り組みについて
2. 検体検査自動化システム CLINILOG V4のご紹介

講師：1. 渡辺 豊 先生 (日本電子株式会社MEソリューション営業本部) MEソリューション版(促室)
2. 武田 理佐 先生 (エイアンドティ株式会社マーケティング部)

会場：草津市立市民交流プラザ 中会議室
参加費：日臨技+滋臨技会員：200円 滋臨技のみ会員：200円
日臨技のみ会員および非会員：2,000円
その他医療従事者：無料

問合先：公立甲賀病院 臨床検査課 齊藤 健太
TEL：0748-62-0234 (代表)

5月25日(土)

14:00～16:00



臨床免疫化学検査部門

第2回臨床免疫化学検査部門研修会

内容：血液ガス関連
講師：ラジオメーター株式会社 学術担当者
会場：未定

参加費：日臨技+滋臨技会員：200円 滋臨技のみ会員：200円
日臨技のみ会員および非会員：2,000円
その他医療従事者：無料

問合先：地方独立行政法人 市立大津市民病院 一瀬 亮介
TEL：077-522-4607 (内線：3262)

6月21日(金)

14:00～17:00



臨床生理部門

第1回臨床生理研修会

内容：心電図について
講師：多田 淳史 技師 (京都工場保健会)
会場：県内会場

参加費：会員200円、非会員2,000円 (学生、他の医療従事者：無料)
問合先：済生会滋賀県病院 臨床検査科 中島 辰也
TEL：077-552-1221(代表)

6月29日(土)

14:00～17:00



臨床血液部門

第1回臨床血液部門研修会

内容：血液認定・二級試験受験に向けて
講師：中川 美波 (長浜赤十字病院)
上野山 恭平 (滋賀医科大学附属病院)

会場：キラリ工草津

参加費：日臨技会員200円、滋臨技のみ会員700円、非会員2,000円
問合先：滋賀医科大学附属病院 中西 良太
TEL：077-548-2604

日付未定

病理細胞部門

日臨技生涯教育推進研修会

第1回病理細胞部門研修会

内容：動画で学ぶ病理関連技術：滋賀版Ver.4
～術中迅速組織標本作製技術～

講師：済生会滋賀県病院 嶋村 成美技師
高島市民病院 秋永 佳那 技師

会場：オンライン配信

参加費：無料

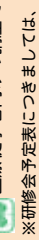
問合先：長浜赤十字病院 病理部 土田 弘次
TEL：0749-63-2111(内線4286)



一般県民向けの講座です



医療従事者向けの講座です



会員向けの講座です

※研修会予定表につきましては、変更することもありますので、詳細につきましては技師会ホームページ内の行事予定表でご確認ください。



公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

事務局：地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部 滋賀県大津市本宮 2-9-9
滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>



詳細については、HP をご覧下さい
滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>



令和6年度（2024年） 滋賀県臨床検査技師会 事業計画

※詳細はHPを参照願います

事務部	<p>適正な法人運営が行われるよう、各種事項の管理・運営を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度定期総会の開催 ・理事会の開催 ・常務理事会の開催 ・法人に関する各種契約・申請・報告に関することの管理 ・技師会会議室の管理・運営 ・会員・関連団体の慶弔に関すること ・関連団体との連帯強化 ・タスク・シフト実技講習会に関すること ・その他、法人運営に関すること
組織部	<p>会員管理は元より、新入会員研修、青年部会、施設代表者会、厚生事業などを通じ、会員の交流を図りながら情報交換・情報共有の場とし組織強化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員管理 ・新入会員研修会の開催 ・青年部研修会の開催 ・施設代表者会の開催 ・地域ニューリーダー育成研修会の開催 ・永年会員表彰 ・未加入技師への入会促進 ・厚生事業の開催 <p>【青年部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員研修会の参画 ・青年部研修会の開催 ・青年部部会の開催
渉外部	<p>当会の活動にご理解・ご賛同いただける、企業・団体様へ「賛助、協賛、広告」を呼びかけ協力をお願いする。 また、医療関連団体との交流を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係の企業への賛助会員への加入の推進 ・関係団体との連携に関すること ・医療関係の企業への会誌（滋臨技だより）の広告のお願い ・医療関係の企業への滋賀県医学検査学会の学会賛助並びに講演集の広告のお願い ・その他渉外に関すること
広報部	<p>講演会・研修会などの案内、臨床検査に関すること、理事会など各種活動報告、会員動向、求人に関すること、会員からの寄稿・投稿などを、会誌・ホームページを通じ掲載・配信する。メーリング会員の登録促進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会誌「滋臨技だより」の発行 ・研修会予定表の発行 ・ホームページによる広報活動 ・ホームページ委員会の開催
公益活動部	<p>公益社団法人として、臨床検査の知識の普及・啓発を行い県民の健康づくりへの意識を高揚させるため、各地域の健康フェスティバルに参加する。また、日本臨床検査技師会の「臨床検査と健康・普及啓発月間」の11月には「検査と健康展」の地方会場として開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバルへの参画 ・滋賀レイクファミリーボランティアへの協力 ・「検査と健康展」の開催 ・滋賀県がん医療フォーラムへの協力
精度管理部	<p>滋賀県内医療の均てん化と向上を目的に、臨床検査精度管理を実施する日臨技の精度管理システムJAMT-QCを活用した精度管理事業を継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度管理部会代表者会議の開催 ・各分会精度管理報告会の開催 ・令和6年度臨床検査精度管理報告会の開催 ・各分会別事業計画の実施
学術部	<p>臨床検査技師の生涯教育を推進するために、講演会・研修会・学会を開催する。基礎的および専門的な知識・技術の習得に加えて、タスク・シフト/シェア、および、多職種連携を見据えて今後さらに活躍できるスキルを持ち合わせた臨床検査技師の養成を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術部門長会議の開催 ・滋賀医学検査編集委員会会議の開催 ・学術論文雑誌「滋賀医学検査」Vol.15の発刊 ・各学術部門活動の実施 ・第47回滋賀県医学検査学会（第1地区担当）の開催

新型インフルエンザ等感染症を見据えたPCR研修会報告

彦根市立病院臨床検査科 樋口 武史

令和6年2月17日(土)に長浜バイオ大学にて、滋賀県と当会が主催する新型インフルエンザ等感染症を見据えたPCR研修会を開催しました。県内の医療機関等から10名の参加があり、核酸検査における基本的な技術や手法について幅広く学ぶことができました。以下に、当日の研修内容について報告します。

講義

① 核酸精製について

講義①では、PCR反応を行う際に不可欠な核酸精製の基本について学びました。スピнкаラム法等、様々な手法による核酸分離・精製の原理と実践的な方法について理解が深まったことで、クリーンで高品質な核酸の精製がPCR検査の結果にとっても重要であることが明確になりました。

② 精度管理について

講義②ではPCR検査の精度管理について学びました。正確で再現性のある結果を得るためには、標準曲線の作成や陽性・陰性対照の適切な設定、温度や時間等の条件設定の重要性が理解できました。

③ PCRに影響を与える因子について

講義③ではPCR反応に影響を与える様々な因子について理解を深めました。温度、酵素の選択、プライマーおよびプローブの設計、試薬の品質等がPCR反応の結果に影響を与える等、これらの因子を適切にコントロールすることが、信頼性の高いPCR検査の結果を得るために大切なポイントであることが理解できました。

実習編

① スピнкаラムを用いたマニュアル核酸精製実習

実習①では、スピнкаラムを使用した手動の核酸精製技術を学びました。実際に試料から核酸を取得し、スピнкаラムを介して不純物を取り除く手順を実践しました。この実習を通じて、核酸精製の基本的な手法や注意点を習得することができました。

② リアルタイムPCR法を用いた病原体検出実習

実習②では、リアルタイムPCR法を用いて病原体の検出を行いました。PCR反応が進行する過程でリアルタイムにデータを取得し、その結果を解析する手法を習得しました。

③ マイクロピペット操作とメンテナンス

実習③では、マイクロピペットの正確な操作方法と定期的なメンテナンスの重要性について学びました。微量の試薬を扱う際の正確なピペティング技術は、PCR検査の結果に直結するため、これらのスキル向上の重要性が再認識できたと思います。

本研修会を通じて、PCR技術の理論と実践に関する深い理解を得ることができました。今後もこれらの知識と技術を活かし、滋賀県の医療計画等の実践に貢献していきたいと思っております。



令和6年度 滋賀県精度管理参加申込のご案内

今年度の滋賀県精度管理事業の参加申込を開始します。

県内施設の方は日臨技ホームページ「臨床検査精度管理調査」→「JAMT-QC参加施設向けシステム」より登録ください。

県外施設の方は、参加申込書をFAX願います。

詳細は、文書にてご案内しますのでご確認ください。

参加申込期間：令和6年4月12日(金)～26日(金)

参加費：無料

問合せ先：滋賀県立総合病院 臨床検査部 梅村茂人

Tel 077-582-5031 PHS 6620

会員動向

【令和6年度 2月29日現在】

会員数	入会数 (1月1日～2月29日)	退会数 (1月1日～2月29日)
707名	1名	6名

なお、変更等がございましたら速やかに日臨技会員の方はJAMTISにて、滋臨技のみ会員の方は変更用紙(HPより取得可能)にて対応いただきますよう何卒よろしくお願いたします。

2023年度 賛助会員

京都和光純薬株式会社

アルフレッサ株式会社

バイオメリュー・ジャパン株式会社

株式会社 タウンズ

極東製薬工業株式会社

株式会社 イムコア

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

ミナリスメディカル株式会社

デンカ株式会社

チェスト株式会社

株式会社 エイアンドティー

アボットジャパン合同会社

アークレイマーケティング株式会社

島津ダイアグノスティクス株式会社

アルフレッサファーマ株式会社

PHC株式会社

キャノンメディカルシステムズ株式会社

関東化学株式会社

日本光電工業株式会社

株式会社 日立ハイテク

株式会社 アテスト

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

シスメックス株式会社

株式会社 テクノメディカ

株式会社 メディック

株式会社 カイノス

株式会社 ミズホメディー

栄研化学株式会社

富士フイルム和光純薬株式会社

積水メディカル株式会社

アイ・エル・ジャパン株式会社

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

松浪硝子工業株式会社

テルモ株式会社

ニッポーボーメディカル株式会社

日本電子株式会社

東ソー株式会社

ベックマン・コールター株式会社

株式会社 シノテスト

株式会社 ケーエスケー

株式会社 エスアールエル

令和6年1月定例理事会報告

開催日：令和6年1月13日（土）16：00～

開催場所：二葉屋（新年会会場）

出席者：大本、西尾、守安、一岡、長谷川、小中、
谷、菅沼、岡本、山藤、足立、梅村、藤村、
曾川、西村、三雲

欠席者：吉田監事、阪口監事

<報告事項>

- 令和6年7年の日臨技会長選挙が終了
1月6日開票。
当選者：横地常広氏
次点者：長沢光章氏
- 1月1日の能登半島地震に関して日臨技より災害対策本部立ち上げの連絡あり。
日臨技災害対策本部アドレス：
<JAMT_info@jamt.or.jp>
- 谷理事が令和5年度滋賀県公衆衛生事業功労者公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰受賞。

- 北村元理事が令和5年公衆衛生功労者知事表彰受賞。
- 大本会長が令和5年度厚生労働大臣表彰受賞。

<協議・承認事項>

- 子宮頸がんを考える市民の会の寄付については見送ることで承認された。
- 令和6年3月2日 大津日赤 小講堂での精度管理報告会については会場がさほど広くない為、共催企業様、ご協力いただいた試薬会社様の参加は今回見送ることで承認された。
- 令和6年度の予算案については承認された。事業計画については全部門出揃ってから、2月の理事会で承認することとした。

<決議事項>

- 12月入会1名、退会5名、1月転入1名、退会1名が承認された。

令和6年2月定例理事会報告

開催日：令和6年2月7日（水）17：00～

開催場所：野洲事務所

出席者：大本、西尾、一岡、長谷川、小中、谷、
菅沼、岡本、山藤、足立、梅村、藤村、
曾川、西村、三雲

欠席者：阪口監事、吉田監事、守安

<報告事項>

- 1月11日 滋賀県医師会新春懇談会 大本会長出席。
- 1月14日 兵庫県臨床検査技師会 創立70周年記念式典に大本会長出席。
- 1月21日 滋賀県病院大会 守安副会長出席。
- 1月23日 滋臨技選挙管理委員会役員選出委員会
18:30から。野洲会議室。
選挙管理委員長に藤澤氏（滋賀医大）、
役員推薦委員長に宮元氏（市立長浜病院）に決定した。

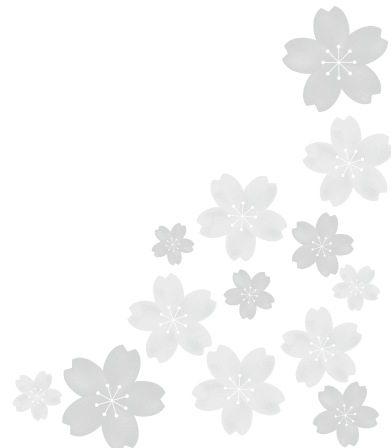
<協議・承認事項>

- 滋賀県感染症対策連携協議会 滋賀県との協定締結については理事会承認した。
3月2日の施設代表者会議でも県担当者に説明いただく。

- 総会日程日は6月7日（金）キラリエ草津で予約手配した。
- 滋賀県肝炎トップセミナーの後援可否については後援を承認した。HPにも掲載する。
- 後援依頼 第46回シスメックス学術セミナーの後援を承認した。

<決議事項>

- 会員動向は入会0名、退会4名の報告を受け、承認された。
- 令和6年度の事業計画が出され、理事会で承認された。



「次期新興感染症に備えた協力に関する協定」合同締結式および 第4回滋賀県感染症対策連携協議会のご報告

令和6年3月7日(木)、滋賀県危機管理センター プレスセンターにおきまして、「次期新興感染症に備えた協力に関する協定」合同締結式が開催されました。当会をはじめ滋賀県医師会、滋賀県歯科医師会と滋賀県とで、感染拡大防止や県民の安全を確保することを目的に協力協定を締結いたしました。締結の主な内容は以下のとおりです。

- (1) 新型インフルエンザ等感染症等に備えた研修の実施および研修受講者の検査能力等精度の保持
- (2) (1)の研修受講者のリストの提供
- (3) その他新型インフルエンザ等感染症等の感染拡大防止に関する支援

締結後の挨拶で本会長から「過去の反省を踏まえ、この協定を機に当会は責任と自覚をもって滋賀県と協力してPCR検査と検体採取の継続的な養成を進めていく」旨を述べられました。



合同締結式後には第4回滋賀県感染症対策連携協議会が開催され、第3回連携協議会における計画原案への意見と対応についての説明があり、私の方で質問させていただいた検査試薬の確保については、「県は国や衛生科学センターと検査試薬の迅速な供給について調整する他、検査試薬の量産や流通について、国へ要望を行う」との内容を予防計画に組み入れられることとなりました。

また、県は各医療機関と医療措置協定を順次結ぶこととなっており、この協定を結ぶことで診療報酬上の加算(DPC係数など)や感染対策向上加算の要件の見直しなどの説明がありました。協定については検査センターとの協定を5施設でなされており、次年度予定している外部精度管理への参加についてご質問させていただき、県担当者からは今後参加について検討するとの回答になりました。

今回の協定を踏まえ、当会ではPCRと検体採取の実技講習会を継続的に進めていきたいと考えています。3月2日(土)の施設代表者会議においても情報を共有させていただきましたので、会員の皆様には、今回の協定について、ご理解ならびにご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、本協議会の詳細については下記ホームページでも確認することができます。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/yakuzi/333985.html>

(滋賀県感染症対策連携協議会 | 滋賀県ホームページ (shiga.lg.jp))

(文責 副会長 西尾久明)

第313号滋臨技だより

2024年4月1日

発行所：滋賀県臨床検査技師会

編集者：三雲明弘

岡本明子

西尾久明

印刷：近江印刷株式会社

技師会では、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部
滋賀県大津市本宮2-9-9

E-Mail samtjimukyoku@samt.jp

